

《商品の特色》

http://v-revitalize.co.jp

作成基準日：2011年12月30日

わが国の株式を中心に投資し運用資産の中長期的な成長を目指す、クローズド・エンド型の会社型投資信託（投資法人）です。

- ・投資事業有限責任組合の出資持分への投資を含む国内の未公開企業の発行する株式等、および上場または店頭登録後10年以内の株式等への投資額を株券等投資額の50%以上とすることを基本投資配分とします。
- ・大阪府下の未公開株式に20～30%程度を投資するものとします。
- ・同一銘柄の株式への投資は取得時においてファンド資産の10%以内とします。
- ・外貨建資産への投資は行いません。
- ・資金借入れおよび投資法人債の発行は行いません。

| | |
|-------------|------------|
| 1口あたりの参考評価額 | 2,548円 |
| 1口あたり純資産額 | 2,853円 |
| 市場価格 | 642円 |
| 純資産総額 | 1,185百万円 |
| 払込資産 | 4,571百万円 |
| 設立年月日 | 平成14年3月15日 |
| 決算日 | 1月31日 |
| 存立期間 | 定めはありません |

(注1)1口あたり参考評価額は下記の関係法人に対する報酬控除後

| 分配金実績(税引前) | |
|------------|--------|
| 第1期(H15.1) | 0円 |
| 第2期(H16.1) | 0円 |
| 第3期(H17.1) | 1,639円 |
| 第4期(H18.1) | 563円 |
| 第5期(H19.1) | 0円 |
| 第6期(H20.1) | 0円 |
| 第7期(H21.1) | 0円 |
| 第8期(H22.1) | 0円 |
| 第9期(H23.1) | 0円 |

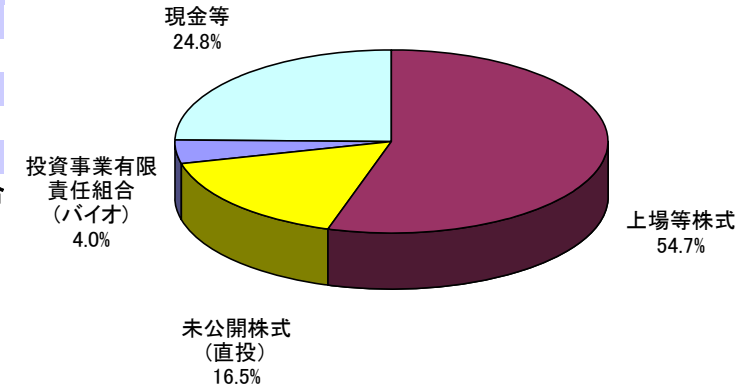
《1口あたりの参考評価額の騰落率》

| | |
|-------|--------|
| 設立日比 | -52.5% |
| 過去1カ月 | -0.2% |
| 過去3カ月 | -0.1% |
| 過去6カ月 | -11.2% |
| 過去1年 | -11.6% |
| 過去3年 | -50.2% |
| 過去5年 | -71.6% |

《1口あたりの参考評価額内訳》 2,548円

| | |
|--------------|--------|
| 内 現金等 | 633円 |
| 内 上場等株式 | 1,393円 |
| 内 未公開株式 | 421円 |
| 内 投資事業有限責任組合 | 101円 |

《資産別組入比率12月30日現在》



資産運用会社 (SBIアセットマネジメント株式会社)

前月末純資産額に対し0.09345% (税抜0.089%)

資産保管会社 (中央三井アセット信託銀行株式会社)

前月末純資産額に対し0.008925% (税抜0.0085%)

年間420万円 (税抜400万円) (固定報酬)

一般事務受託者 (三菱UFJ信託銀行株式会社)

前月末純資産額に対し0.02625% (税抜0.025%) (30億以下の部分)

前月末純資産額に対し0.02289% (税抜0.0218%) (30億超50億以下の部分)

委託準備報酬105万円 (税抜100万円)

一般事務受託者 (計算) (中央三井アセット信託銀行株式会社)

前月末純資産額の0.0042% (税抜0.004%)

未公開株等評価機関 (株式会社みずほ証券リサーチ&コンサルティング)

前月末の未公開有価証券総評価額に対し0.017535% (税抜0.0167%)

6カ月毎 157.5万円 (税抜150万円)

会計監査人 (新日本有限責任監査法人)

会計監査人 年額2,000万円以内

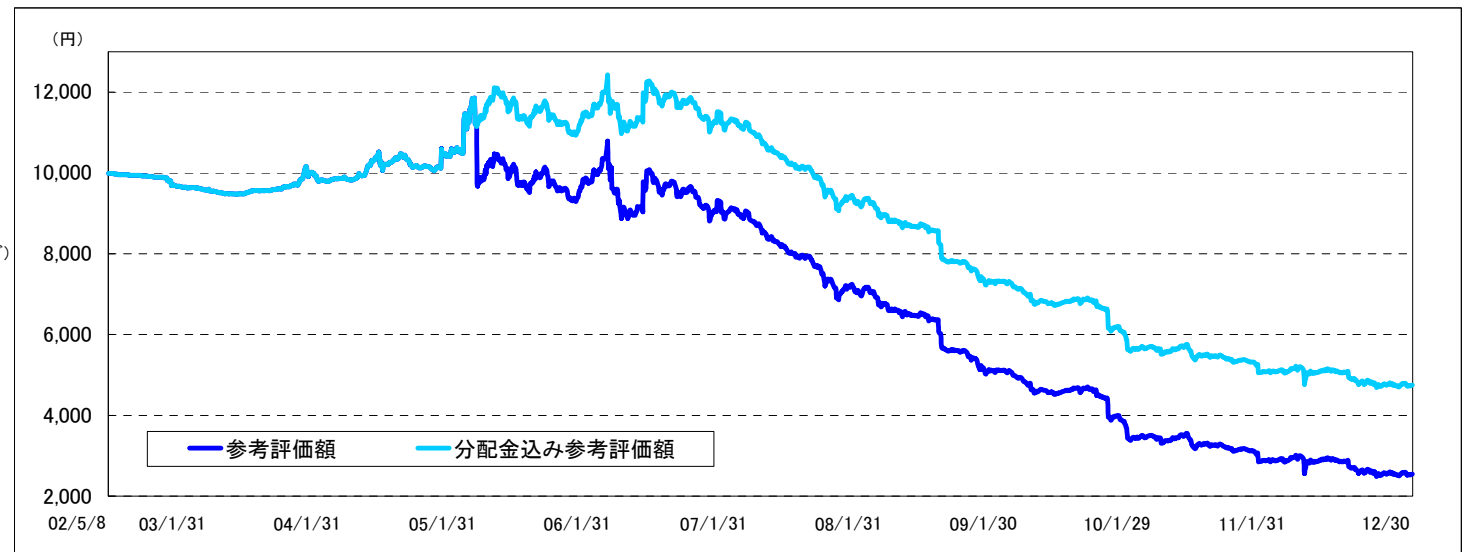
役員

執行役員・監督役員 月額15万円

(注2)参考評価額は、会計情報に加え時価情報を加えたものです。

この参考評価額は、契約型投資信託の基準価額に準じた方法により算出したものです。

《1口あたりの参考評価額の推移》



このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口あたり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

作成基準日：2011年12月30日

《大阪証券取引所ベンチャーファンド市場》

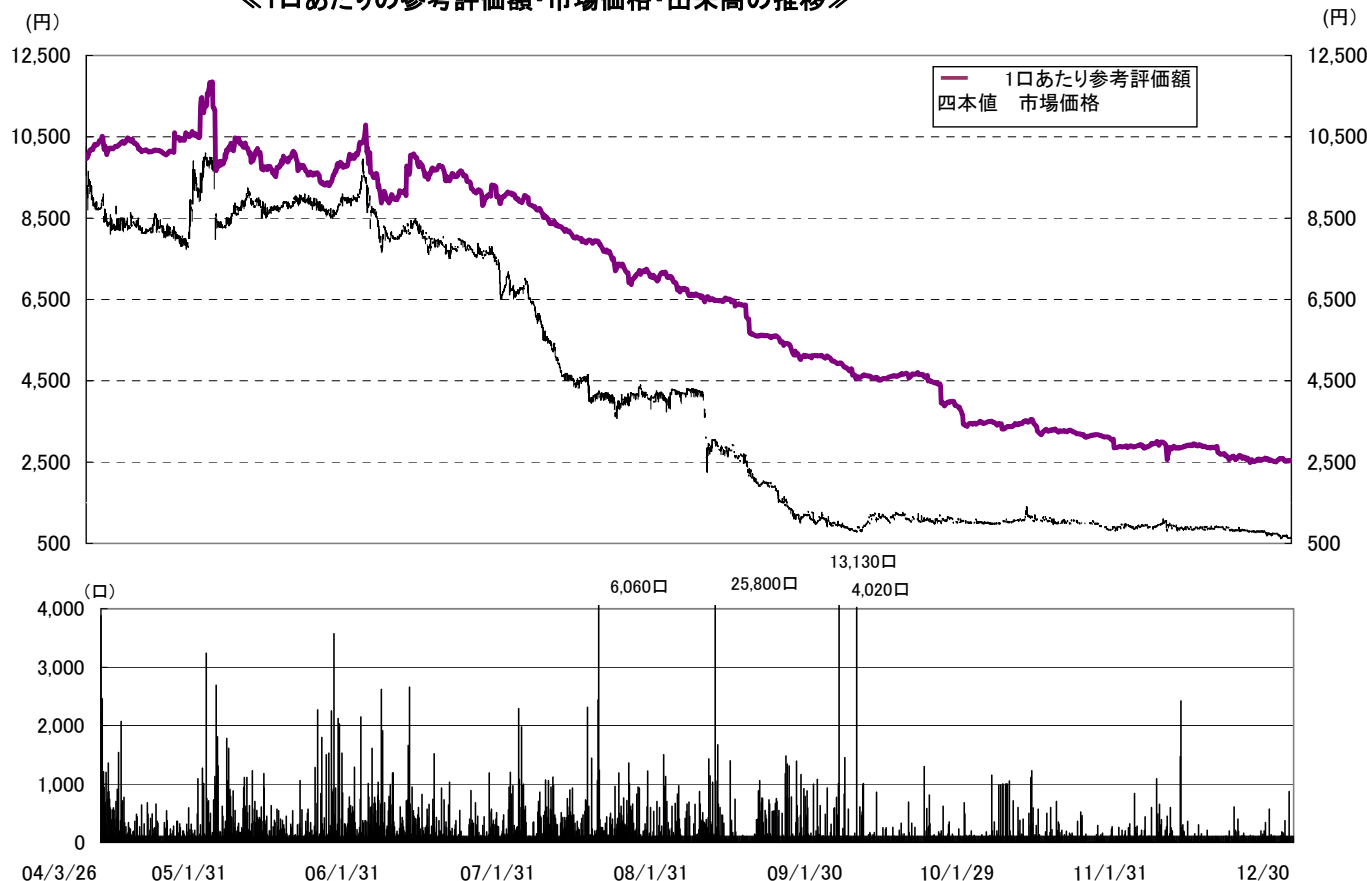
《市場価格情報》

| | |
|--------------|----------|
| 月末終値 | 642円 |
| 上場初値 | 10,250円 |
| 上場来高値(終値ベース) | 10,000円 |
| 上場来安値(終値ベース) | 630円 |
| 発行済投資口数 | 465,050口 |
| 時価総額 | 299百万円 |
| | |

《市場価格の騰落率》

| | 分配金調整後 |
|-------|--------|
| 過去1カ月 | -14.4% |
| 過去3カ月 | -19.8% |
| 過去6カ月 | -26.4% |
| 過去1年 | -28.7% |
| 過去3年 | -30.3% |
| 過去5年 | -90.4% |
| | |
| | |

《1口あたりの参考評価額・市場価格・出来高の推移》



当月は参考評価額が0.2%下落、市場価格も14.4%下落、乖離率は▲74.8%と前月から拡大しました。市場価格の642円は、流動性資産である現金等と上場株式を合計した1口あたり2,026円を下回っており、いわゆる現金価値以下の市場価格が続いています。月中の動き(終値ベース)は、高値720円、安値630円となり、1カ月のうち4営業日が値つかずとなりました。

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口あたり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

《上場株券等》

(1) 時価総額 648百万円 54.7%

(2) 組入銘柄数 24銘柄

(3) 組入銘柄

| | コード | 銘柄 | 業種 | 市場 | 株数(株) | 時価単価(円) | 時価金額(円) | 構成比 |
|----|------|-------------------|---------|--------|---------|---------|-------------|-------|
| 1 | 2229 | カルビー | 食料品 | 東証一部 | 18,100 | 3,765 | 68,146,500 | 5.8% |
| 2 | 6256 | ニューフレアテクノロジー | 機械 | JASDAQ | 222 | 270,300 | 60,006,600 | 5.1% |
| 3 | 3632 | グリー | 情報・通信業 | 東証一部 | 21,600 | 2,652 | 57,283,200 | 4.8% |
| 4 | 3092 | スタートトゥデイ | 小売業 | 東証マザーズ | 23,800 | 1,801 | 42,863,800 | 3.6% |
| 5 | 2193 | クックパッド | サービス業 | 東証一部 | 23,900 | 1,700 | 40,630,000 | 3.4% |
| 6 | 2413 | エムスリー | サービス業 | 東証一部 | 89 | 347,000 | 30,883,000 | 2.6% |
| 7 | 2127 | 日本M&Aセンター | サービス業 | 東証一部 | 71 | 401,500 | 28,506,500 | 2.4% |
| 8 | 3652 | デジタルメディアプロフェッショナル | 情報・通信業 | 東証マザーズ | 14,500 | 1,775 | 25,737,500 | 2.2% |
| 9 | 6262 | ベガサスミシン製造 | 機械 | 東証一部 | 109,000 | 213 | 23,217,000 | 2.0% |
| 10 | 6640 | 第一精工 | 電気機器 | 東証一部 | 9,800 | 2,165 | 21,217,000 | 1.8% |
| 11 | 5020 | JXホールディングス | 石油・石炭製品 | 東証一部 | 45,000 | 465 | 20,925,000 | 1.8% |
| 12 | 3620 | デジタルハーツ | 情報・通信業 | 東証一部 | 138 | 150,000 | 20,700,000 | 1.7% |
| 13 | 1414 | ショーボンドホールディングス | 建設業 | 東証一部 | 11,900 | 1,694 | 20,158,600 | 1.7% |
| 14 | 4577 | ダイト | 医薬品 | 東証一部 | 17,000 | 1,185 | 20,145,000 | 1.7% |
| 15 | 3034 | クオール | 小売業 | JASDAQ | 388 | 51,800 | 20,098,400 | 1.7% |
| 16 | 3360 | シップヘルスケアホールディングス | 卸売業 | 東証一部 | 11,900 | 1,682 | 20,015,800 | 1.7% |
| 17 | 3659 | ネクソン | 情報・通信業 | 東証一部 | 18,000 | 1,107 | 19,926,000 | 1.7% |
| 18 | 3444 | 菊池製作所 | 金属製品 | JASDAQ | 20,300 | 947 | 19,224,100 | 1.6% |
| 19 | 3793 | ドリコム | 情報・通信業 | 東証マザーズ | 153 | 123,700 | 18,926,100 | 1.6% |
| 20 | 7826 | フルヤ金属 | その他製品 | JASDAQ | 6,200 | 2,979 | 18,469,800 | 1.6% |
| 21 | 6674 | ジーエス・ユアサ コーポレーション | 電気機器 | 東証一部 | 40,000 | 414 | 16,560,000 | 1.4% |
| 22 | 6409 | キトー | 機械 | 東証一部 | 239 | 55,500 | 13,264,500 | 1.1% |
| 23 | 6619 | ダブル・スコープ | 電気機器 | 東証マザーズ | 5,800 | 1,791 | 10,387,800 | 0.9% |
| 24 | 7749 | メディキット | 精密機器 | JASDAQ | 420 | 24,630 | 10,344,600 | 0.9% |
| | | | | | 合計 | | 647,636,800 | 54.7% |

《ファンド・マネジャーコメント》

1.市場動向
12月の株式市場は、欧州債務問題への懸念は依然として根強かったものの、堅調な米経済指標が下支えとなり、ほぼ変わらずとなりました。上旬は、11月末に合意した日米欧の主要中央銀行によるドル資金供給の拡充や、ISM製造業景況感指数など堅調な米経済指標に加え、EU首脳会議を前に政策期待が広がったことから、上昇して始まりました。しかし、中旬に入ると、EU首脳会議での債務危機への取り組みを不安視する見方が広がり、複数の格付け機関がユーロ圏諸国の格付けを引き下げ方向で見直すとの報道などが相次いだことに加え、北朝鮮の金正日総書記の死去を受けて東アジアの地政学リスクが高まったことなどが嫌気され、軟調に推移しました。下旬は、年末を控え、薄商いとなる中、米国の住宅関連指標や消費者信頼感指数など堅調な米経済指標が下支えたことから、日経平均株価は堅調に推移し、年末は8,455.35円で取引を終えました。

為替に関しては、円/ドルは、77円台後半で始まり、欧州債務問題への懸念から円が買われた一方で、堅調な米経済指標や年末のドル需要も意識され、77～78円台での小動きの展開が続きました。月末は、年末決済に向けてドル資金を手当てする動きが一巡し、円高が進行したことから、76円台後半で終わりました。

業種別では、海運、医薬品、倉庫運輸、陸運、水産・農林業などが値上がりした一方で、空運、不動産、保険、証券、電気機器などが値下がりました。

新興市場は、欧州財政問題や円高・ユーロ安の進行を背景に、大型株を中心に機関投資家の慎重姿勢が続く中、個人投資家を中心に中小型の好業績株を物色する動きが広がり、堅調に推移しました。

指数の動きは、日経平均+0.2%、TOPIX+0.02%、日経ジャスダック平均+2.8%、東証マザーズ指数+3.9%となりました。

2.上場部分の運用実績

当月の上場後5年以内の株式運用は、15銘柄96百万円の購入、1銘柄36百万円の売却を行い、株式の組入れ比率を増加させました。

購入したIPO銘柄は、オンラインゲームの制作、開発、配信を行う「ネクソン」(▲14.6%)、リチウムイオン二次電池用セパレーター製造・販売を行う「ダブル・スコープ」(▲13.4%)です。既組入れ銘柄の運用成績は、スタートトゥデイ(24.2%)、デジタルメディアプロフェッショナル(10.9%)、菊池製作所(10.5%)等、24銘柄中11銘柄が上昇した一方で、クオール(▲13.7%)、エムスリー(▲8.6%)等が下落しました。結果、上場株式部分の利回りは+0.7%の上昇となりました。

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投

《未公開株等》

1. 直接投資

(1) 株式

| 銘柄名 | 業種 | 株数(株) | 時価単価(円) | 時価金額(円) | 構成比 |
|---------------|-------|---------|---------|-------------|-------|
| ワイズ | 医薬品 | 2,000 | 32,500 | 65,000,000 | 5.5% |
| ドリーム・アーツ | 情報・通信 | 1,517 | 37,209 | 56,446,053 | 4.8% |
| ジェイ・エス・ビー | 不動産 | 460 | 65,000 | 29,900,000 | 2.5% |
| SBIトランスサイエンス | その他金融 | 94 | 279,500 | 26,273,000 | 2.2% |
| モール・オブ・ティーヴィー | 小売 | 1,100 | 12,621 | 13,883,100 | 1.2% |
| バイオマスター | サービス | 142,857 | 16 | 2,285,712 | 0.2% |
| アリジェン製薬 | 医薬品 | 1,428 | 796 | 1,136,688 | 0.1% |
| パラダイムシフト | サービス | 1,100 | 629 | 691,900 | 0.1% |
| フレパー・ネットワークス | 情報・通信 | 320 | 0 | 1 | 0.0% |
| カルディオ | 医薬品 | 4,700 | 0 | 1 | 0.0% |
| 合計 | | 155,576 | | 195,616,455 | 16.5% |

(2) 新株予約権

| 銘柄名 | 株数(株) | 時価金額 | 構成比 | 行使価格(円) | 行使期限 |
|------------|-------|------|-----|---------|-----------|
| パラダイムシフト#5 | 1,100 | - | - | 2,000 | H31.12.17 |

《ファンド・マネジャーコメント》

3.未公開部分の運用実績

直接投資部分への投資はありませんでした。

ライフサイエンス(バイオ)関連の投資事業有限責任組合の未公開株の売買については、リンク・ジェノミクス(12月16日付)、リクエーティブ・クリニカル・コーポレーション(12月22日付)を全株売却した旨の報告を無限責任組合員より1月に受けました。

4.今後の運用方針

上場後5年以内の株式については、欧州債務問題や世界景気の減速懸念、円高の長期化などを背景に、大型株を中心に膠着が続く中、一部の中小型好業績銘柄を中心に個別物色の動きもみられます。外部環境については、復興需要などが景気回復の下支えとなる一方で、円高の長期化や海外景気の減速を受けて、生産面を中心に踊り場的な状況に陥りつつあります。海外要因としては、欧州債務危機の拡大や、欧州景気の後退リスクに加え、中国などの新興国景気の下振れリスクなどに注意が必要です。組入れ比率は1月末の決算に向けて若干増加させるものの、流動性にも注意しながら割安な銘柄を中心に押し目買いを行うとともに、相場環境によっては株式投資比率を機動的に変動させます。

未公開株については厳しい環境が続いており、組入れ済銘柄のM&Aなどによる売却を含め、早期の実現益確保に努めると共に、慎重に新規銘柄の発掘を行う方向に変更はありません。

また、大阪府下の未公開株の組入れに関しては、組入れた未公開株が既に上場を果たした、事業売却や業績不振により大阪府の拠点が無くなった、時価が減少したなどの事由により組入比率が2.6%まで落ち込んでいます。今後も銘柄発掘に努めますが、短期的には組入比率を高めることは困難な状況です。

投資事業有限責任組合への新規組入れ予定はありません。

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口あたり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 直接投資企業 】

会社名：株式会社モール・オブ・ティーヴィー

<http://www.motv.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|----|---------|----------|-----|-------|-----|--------------------------------|
| 小売 | 1996年6月 | 874 | 3月 | 指方 健治 | 東京都 | テレビショッピング専門チャンネルの企画・運営、放映商品の販売 |

事業の詳細

・ショッピング番組の企画・制作・放送業務 ・放映商品の企画・開発業務 ・放映商品の販売業務 ・メディア業務

主要取引先

スカパーJSAT株式会社、シー・ブレインズ株式会社、株式会社トライステージ、株式会社イー・プレイヤーズ、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-------|-----------|----|-----------|----|-------------|----|----------|-------|----------|-----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 1,725 | 1,593 | 95 | 75 | 101 | 76 | - | - | 664 | 1,134 | 160 | 741 | 494 | 393 |

会社名：SBIトランスサイエンス株式会社

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-------|----------|----------|-----|------|-----|-----------------------|
| その他金融 | 2009年11月 | 10 | 12月 | 中川 隆 | 東京都 | 投資事業組合財産の運用及び管理、投資助言業 |

事業の詳細

(株)トランスサイエンスの運営する任意組合及び投資事業有限責任組合を引継ぎ、運用管理を行う。
また金融商品取引法上の投資助言業者として、投資顧問契約者に対して助言・代理業務を行う。

会社沿革

平成21年11月 (株)トランスサイエンスからの新設分割法人として設立。同社運営の投資事業組合の運営管理事業に関して有する権利義務を承継。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|----------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2010年12月 | 98 | 7 | -39 | -71 | -24 | -24 | - | - | 329 | 308 | 53 | 5 | 276 | 303 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 直接投資企業 】

会社名：フレパー・ネットワークス株式会社

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-------|---------|----------|-----|--------|-----|----------------------|
| 情報・通信 | 2000年2月 | 2,312 | 3月 | 宮之内 誠人 | 東京都 | 電気通信事業、キオスク端末販売・受託管理 |

事業の詳細

MVNO事業(仮想異動体通信事業) キオスク端末販売・受託管理 ハードウェア企画・開発・運営 コンテンツ・アグリゲーション 広域負荷分散ファイル・配信サーバ

主要取引先

NTTコミュニケーションズ株式会社、株式会社NTT Do Co Mo、株式会社NTTロジスコ、ソニー株式会社、KDDI株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社博報堂、株式会社日経ラジオ、Hoster-JP、日本IBM株式会社、日本ビクター株式会社、杉並区役所他市役所

会社沿革

平成12年2月 兵庫県芦屋市にて株式会社マイコムを設立
 平成12年6月 一般第二種電気通信事業の免許を取得
 平成13年4月 株式会社マイコムからフレパー・ネットワークス株式会社に商号変更
 本店を芦屋市から京都市下京区に移転

平成14年5月 本店を京都市下京区から東京都港区に移転
 平成16年5月 フレパー・ネットワークス株式会社に商号変更

直近決算の概要 *平成22年3月期、平成23年3月期の財務状況は入手できておりません。

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-------|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|-------|----------|-----|-----------|-------|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2009年3月 | 7,738 | 5,830 | 422 | 137 | 422 | 858 | - | - | 6,595 | 4,568 | 2,595 | 990 | 6,595 | 3,578 |

会社名：株式会社ドリーム・アーツ

<http://www.dreamarts.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-------|----------|----------|-----|-------|-----|------------------------------|
| 情報・通信 | 1996年12月 | 300 | 3月 | 山本 孝昭 | 東京都 | ソフトウェア製品事業、システム開発・コンサルティング事業 |

事業の詳細

インターネット/イントラネットベースの各種ソフトウェアパッケージ製品の開発、販売
先端技術・マーケティング・デザインを融合させたシステム開発・コンサルティング事業

主要取引先

日本郵政グループ、全日本空輸株式会社、株式会社商船三井、コクヨ株式会社、ユニ・チャーム株式会社、株式会社ユニクロ、アスクル株式会社、株式会社テレビ朝日、株式会社野村総合研究所、日本ヒューレット・パッカド株式会社、TIS株式会社、東芝ソリューション株式会社、株式会社CSKシステムズ 他

会社沿革

平成8年12月 株式会社ドリーム・アーツ設立
 平成9年1月 本店を東京都港区南青山に移転

平成13年12月 業務拡大に伴い、広島市中区に開発拠点「広島ラボ」開設
 平成15年7月 業務拡大に伴い、本店を東京都渋谷区広尾に移転

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-------|-----------|----|-----------|----|-------------|----|----------|-----|----------|-----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 1,127 | 1,026 | 89 | 62 | 101 | 59 | - | - | 1,049 | 946 | 264 | 263 | 785 | 683 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 直接投資企業 】

会社名： アリジェン製薬株式会社

<http://www.arigen.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-----|--------------|
| 医薬品 | 1969年4月 | 374 | 3月 | 所 源 亮 | 東京都 | 医薬品の開発及び販売事業 |

事業の詳細 主に感染症領域における医薬品の発見と研究開発・医薬品の製造販売

主要取引先 独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)、大鵬薬品工業(株)、Axentis Pharma AG(スイス)、クラシエ製薬(株)、CJ第一製糖(株)(韓国)、Centaur社(インド)、GreenCross社(韓国)

| 会社沿革 | 概要 | 概要 |
|----------|--|--|
| 平成13年1月 | 現代代表取締役 所源亮が休眠会社である株式会社ケイ・インターナショナルの全株を取得し事業開始 | 平成19年12月 Axentis社(スイス)に囊胞性線維症治療薬(ARB-CF0223)を導出 |
| 平成13年2月 | 商号をアリジェン株式会社に変更 | 平成20年12月 子会社NPP社の株式譲渡を実施 |
| 平成16年3月 | 事業拡大を目的として日本メディカルリサーチ株式会社と合併 | 平成21年1月 ARH-1029の日本国内での共同研究開発に関して、大鵬薬品工業(株)との間で独占販売契約を締結 |
| 平成16年6月 | 日本ファーマ・プロモーション株式会社(以下「NPP社」という)を子会社化 | 平成21年8月 抗MRSA抗菌剤(WAP-8294A2)の開発プロジェクトが、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)による、第2回「イノベーション推進事業(研究開発型 ベンチャー技術開発助成事業)」に採択 |
| 平成16年9月 | 日米合弁会社Topica Pharmaceuticals,Inc.(旧Janus Pharmaceuticals,Inc)をカタリスト社と折半出資にて設立 抗MRSA抗菌剤(WAP-8294A2の外剤に限定)の米国内での共同開発に関する契約を締結 | 平成22年3月 事業縮小を目的とした資本金の減額及び社員の大幅なリストラクチャリングを実施 |
| 平成17年12月 | aRigen Europe GmbH設立 | 平成22年4月 WAP-8294A2臨床第1相試験迄の開発のため、プロジェクトファイナンスを実施 |
| 平成18年2月 | 第一種医薬品製造販売業許可及び第二種医薬品製造販売業許可を取得 | 平成22年5月 ARH-8294A2の韓国国内での共同研究開発に関して、CJ第一製糖(株)(韓国)との間で独占販売契約を締結 |
| 平成18年12月 | 抗ウイルス剤(ARYS-01)の日本国内での共同開発に関して、クラシエ製薬(株)との間で共同開発に関する契約を締結 | 平成22年7月 ARYS-01のインド・スリランカ国内での共同研究開発に関して、Centaur社(インド)との間で独占販売契約を締結 |
| 平成19年4月 | Topica Pharmaceuticals,Inc.折半出資分の株券を一部売却 | 平成23年 1月 WAP-8294A2の韓国国内での共同研究開発に関して、GreenCross社(韓国)との間で独占販売契約を締結 |
| 平成19年7月 | 塩酸セチリジン製剤の製造販売開始 | 平成23年 5月 リスク・マネージメント・オフィス(RMO)を岐阜県大垣市に開設 |
| 平成19年7月 | 「アリジェン製薬株式会社」に商号を変更 | 平成23年 10月 本店所在地を港区北青山へ移転 |
| | | 平成23年 10月 第三者割当増資(650株)実施 |
| | | 平成23年 11月 第三者割当増資(250株)実施 |

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|------|-----------|------|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 559 | 6 | 59 | -479 | 49 | -462 | - | - | 185 | 83 | 13 | 58 | 171 | 25 |

会社名： 株式会社パラダイムシフト

<http://www.psinc.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|------|---------|----------|-----|-------|-----|---|
| サービス | 2005年3月 | 225 | 9月 | 百田 浩志 | 東京都 | インターネット・メディア関連事業、インターネット・旅行メディア事業、ASP事業 |

事業の詳細 ホスティング・広告・編集・システム開発(自社システム開発及び他社受託システム開発)

主要取引先 楽天・HIS・JTB・トランスコスモス・バリューコマース・アドワイヤーズ・マイクロアド

直近決算の概要 * 平成21年9月期は連結決算 平成22年9月期は連結すべき子会社が多くなったため、単独決算となっております。

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-----|-----------|----|-----------|-----|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年9月 | 292 | 366 | 34 | -1 | 24 | -63 | - | - | 136 | 87 | 105 | 80 | 31 | 7 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 直接投資企業 】

会社名：株式会社ワイズ（旧社名：BBKホールディングス株式会社）

<http://www.ys-pbs.jp/>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|----------|----------|-----|--------|-----|--------------|
| 医薬品 | 2007年11月 | 79 | 6月 | 中島 壽一郎 | 東京都 | 医薬品の開発及び販売事業 |

事業の詳細

ヘルスケアに関わる研究開発から知的財産権の取得、製品開発および販売。製品化された商品および知的財産の国内・海外へのライセンスング。

主要取引先

東北化学薬品(株)、中北薬品(株)(グリーン会)、日邦商事(株)、Amazon.com、(株)もしも(株)アイdealネット)、NPO法人ウェルネス・ステーション事業機構 など

会社沿革

平成20年6月 設立

平成22年1月 社名変更

平成21年7月 本店移転

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年6月 | 124 | 18 | 9 | -21 | 9 | -21 | 0 | 0 | 213 | 155 | 116 | 67 | 97 | 88 |

会社名：株式会社カルディオ

<http://www.cardio.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|------|----------|----------|-----|------|-----|--|
| サービス | 2001年10月 | 49 | 3月 | 柳 裕啓 | 兵庫県 | 心臓疾患治療を目的とした新しい治療法の確立と最先端医療デバイス(機器)の開発 再生医療の実現に向けた研究開発、及び研究成果に基づいたアンチエイジング製品の開発 |

事業の詳細

大阪大学発ベンチャー 心臓・血管を中心とした循環器系における自己組織化を目的としたインプラント用デバイス基材(バイオマテリアル素材)の開発。心臓外科分野に於けるデバイスの研究開発と医療用デバイスの輸入販売。経皮吸収製剤化技術を利用したアンチエイジング製品/機能性化粧品の開発販売。

会社沿革

2001年10月に大阪大学第一外科の先生方を中心に、キャンパスベンチャーとして起業された。2005年7月にポートアイランド内の神戸バイオメディカル創造センター(BMA)に自社ラボを設立し、本社主要機能も同時に移転。現在、BMAを中心としてバイオマテリアルの開発及び主要大学との共同研究・開発を行っている。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|----|----------|-----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 34 | 86 | -43 | -27 | -48 | -27 | 0 | 0 | 31 | 43 | 138 | 102 | -107 | -59 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 直接投資企業 】

会社名：株式会社ジェイ・エス・ビー

<http://www.jsb.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 支社 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|------|-----|------|--------------|
| 不動産 | 1990年7月 | 1,124 | 10月 | 岡 正人 | 京都府 | 大阪府等 | 不動産賃貸借、管理、売買 |

事業の詳細

学生向けマンション・アパートの賃貸業を主体に、マンション企画・開発、設計、仲介・斡旋から入居者・建物管理、住宅設備機器の開発までをトータルで行う。

主要取引先

三井不動産株式会社 三菱UFJニコス株式会社 大学生協同組合 全国農業協同組合連合会

会社沿革

昭和51年12月に設立された株式会社京都学生情報センターが当社前身で、学生専用物件の不動産賃貸業を開始。その後大阪・東京にも会社を設立して事業展開。全社的に経営の統括を行い、組織を整備する目的で平成2年7月当社設立。「UniLife」の名称で全国展開。また、マンション・建物ビル管理会社、学生生活支援会社、設計・施工管理会社を子会社にて展開。来るべき超高齢化社会に向けて高齢者住宅事業を開始、平成23年11月1日に高齢者向け住宅の紹介所『高齢者住宅情報プラザ Grand UniLife(グラン・ユニライフ)』を北海道から九州まで全国13店舗にて一斉オープン。

直近決算の概要 * 2009年9月に10月への決算期変更をしたため、2009年10月期は一ヶ月決算

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|----------|----------|-------|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|--------|----------|--------|-----------|-------|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2010年10月 | 31,368 | 1,727 | 973 | -62 | 330 | -38 | 650 | 0 | 19,289 | 24,702 | 15,893 | 21,673 | 3,396 | 3,029 |

【 直接投資企業および投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名：株式会社バイオマスター

<http://www.biomaster.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|------|----------|----------|-----|-------|------|---------|
| サービス | 2002年12月 | 10 | 3月 | 桑名 隆滋 | 神奈川県 | 医療機関の経営 |

事業の詳細 医療機関の経営(病院等開設会社(特区法第18条)) セルソース開発(細胞採取技術)、細胞の保存、培養、移植技術の開発 デバイス(組織・細胞処理装置、消耗品)の開発・販売

会社沿革 美容外科の研究開発の成果をベースに平成14年12月に設立された。美容外科の医療分野には、脂肪組織という可能性に富んだ細胞源と毛髪という巨大な需要を秘めた魅力的な研究テーマを持っている。当社は、これら美容外科で取り扱う生体組織の細胞に注目して、積極的な研究開発を実施しており、人体の細胞について、採取・保存・培養・移植等の研究を加速し、広く社会に貢献できる技術基盤の充実を図りたいと考えている。平成17年7月に神奈川県が全国に先駆けて構造改革特別区域法第18条の特区に認定され、当社は国内初の病院等開設会社として、セルポートクリニック横浜を開設し、高度美容外科医療厚生労働省告示第362号(平成16年9月30日))を提供する予定である。これにより、当社は、医療サービスの提供と医療周辺技術の提供(医療用デバイスの開発等)を両方共に手がける企業となり、医療現場の医師と患者のニーズを的確に吸収し、サービスとデバイスの改良に活用したいと考えている。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-----|-----------|------|-----------|------|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 188 | 170 | -131 | -133 | -130 | -132 | - | - | 154 | 174 | 32 | 42 | 121 | 132 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名：株式会社セルシグナルズ

<http://www.cell-mdk.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|--------|------|--------------------------------|
| 医薬品 | 2001年6月 | 10 | 3月 | 佐久間 貞俊 | 神奈川県 | MK(ミッドカイン)を用いた体外診断薬および医薬品の研究開発 |

事業の詳細 ガン診断薬、核酸医薬、たんぱく質医薬の企画・開発、保有特許・技術のライセンス、それらを利用した受託試験事業を行う

会社沿革 平成13年6月 株式会社セルシグナルズ設立

平成15年3月 経済産業省「平成14年度補正予算に係る創造技術研究開発(補助金)」に採択
採択プロジェクト:「MKを利用したがん予知、早期発見ELISAキットの開発」

平成15年6月 リーディングベンチャープラザ(鶴見)に本社を移転。研究ラボ開設

平成16年10月 創業者の村松喬(名古屋大学名誉教授)が取締役就任

平成20年6月 6月開催の定時株主総会においてオーストラリア上場企業である

MEDICAL THERAPIES LIMITED (MTY)へ保有特許等の資産譲渡を決議し、その後の交渉により、対価として3,500万株のMTY社株を保有した。MTY社は平成21年11月にCellmidへ社名変更している。現状は事業を停止している状態となっている。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|----|-----------|----|-------------|----|----------|-----|----------|-----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 0 | 0 | 0 | -2 | -1 | -8 | - | - | 140 | 145 | 122 | 126 | 18 | 19 |

会社名：ルーミン・オズ株式会社

<http://www.luminoz.co.jp/>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|----|----------|----------|-----|-------|-----|-------------------------|
| 化学 | 2000年12月 | 99 | 12月 | 吉田 健士 | 東京都 | 光学系高分子技術を利用した光学スクリーンの開発 |

事業の詳細

リアプロジェクションテレビ向けの高精細スクリーンの技術開発、製造、マーケティング、販売

主要取引先

三菱電機

会社沿革

光学高分子樹脂(Optical Polymer)の研究者であるCEO/代表取締役会長のマイケル ペリーがCOO/代表取締役社長の吉田氏、Sales Director/取締役の大島氏と平成10年に米国で会社を設立。平成14年に本社を日本に移す。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|----------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2010年12月 | 8 | 27 | -29 | -73 | -30 | -74 | - | - | 41 | 44 | 70 | 79 | -27 | -35 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名：株式会社ペプチドドア

<http://www.peptide-door.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-----|---------------------------------------|
| 医薬品 | 2002年7月 | 202 | 9月 | 鈴木 政嗣 | 群馬県 | ペプチド医薬品およびペプチドを用いた診断・治療法の開発 化粧品の製造・販売 |

事業の詳細 ペプチドを用いた検査キットの開発。ペプチド医薬およびペプチドを用いた治療法の開発。機能性ペプチド化粧品素材の開発と、配合化粧品の製造、販売。

| 会社沿革 | 概要 |
|----------|--|
| 平成14年7月 | 設立 |
| 平成14年11月 | 群馬県新製品研究・試作支援対策補助金を獲得 |
| 平成14年12月 | 「中小企業創造活動促進法」に基づく研究開発等事業計画の認定を受ける |
| 平成15年7月 | 経済産業省中小企業経営革新等対策費補助金の交付決定 群馬県産学官連携推進補助金の交付決定 |
| 平成15年10月 | 群馬県一社一技術認定及び「中川威雄技術奨励賞」受賞 |
| 平成22年2月 | 開発された美白ペプチド「ヘキサペプチド-20」を配合した自社ブランド化粧品「VGヴィーナスギアw」を販売開始 |
| 平成22年9月 | Actistem社より国内販売権を得た「エイディー868」ペプチド配合の養毛料が発売開始 |

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年9月 | 30 | 6 | 2 | -29 | 1 | -31 | - | - | 25 | 7 | 46 | 29 | -20 | -23 |

会社名：株式会社リボミック

<http://www.ribomic.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|------|-----|------------------------------|
| 医薬品 | 2003年8月 | 1,422 | 3月 | 宮川 伸 | 東京都 | RNAアプタマーを用いた分離剤、試薬、診断薬、医薬の開発 |

事業の詳細

細胞表面の各種の受容体等を主要な創薬標的とし、これらに対して抗体よりも優れた結合力と特異性をもつRNA(アプタマーと呼びます)を作り出して、分離剤、試薬、診断薬、創薬に関する事業を展開。

会社沿革

| 会社沿革 | 概要 |
|----------|---|
| 平成15年8月 | 医薬品の開発研究ならびにコンサルティング等を目的として板橋区に設立 |
| 平成17年2月 | RNAアプタマーに関する東京大学医科学研究所中村義一教授らの研究成果を利用した新規医薬品の開発に特化した大学発ベンチャーとして研究開発を推進することを決定 |
| 平成17年3月 | 東京大学医科学研究所に近い港区白金台に本社を移転 |
| 平成17年4月 | 独立行政法人医薬品医療機器総合機構基礎研究推進事業の研究契約を締結 |
| 平成17年6月 | 東京大学との共同研究契約を締結 |
| 平成17年10月 | 独立行政法人科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業(GREST)の研究契約を締結 |
| 平成17年11月 | 研究体制強化のため、独自の研究ラボを本社近くに開設 これに伴い、事務所ラボ内に移転 |

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-----|-----------|-----|-----------|------|-------------|----|----------|-------|----------|----|-----------|-------|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 362 | 211 | -381 | -98 | -383 | -109 | - | - | 1,208 | 1,216 | 54 | 80 | 1,154 | 1,136 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名： テムリック株式会社

<http://www.tmrc.co.jp>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-----|-------|
| 医薬品 | 2002年1月 | 50 | 12月 | 浴本 久雄 | 東京都 | 創薬事業 |

事業の詳細 創薬事業および自社開発事業

| | | | | |
|------|----------|---|----------|--|
| 会社沿革 | 平成14年1月 | 癌分野に特化したCROとして設立 | 平成18年12月 | TM-411の北米における急性前骨髄球性白血病の適応に関する開発・販売権を米国 Innovive Pharmaceuticals, Inc. にライセンスアウト |
| | 平成16年2月 | 治験薬TM-411(多発性骨髄腫)の開発権・販売権をライセンスイン | 平成19年8月 | TM-411の肝細胞がんの適応に関する国内における共同の独占的開発権および独占的製造販売権をゼリア新薬工業にライセンスアウト |
| | 平成16年12月 | 治験薬TM-411(多発性骨髄腫)が独立行政法人医薬品医療機器総合機構(現医薬基盤研究所)の支援事業に認定 | 平成19年9月 | TM-411の欧州における急性前骨髄球性白血病の適応に関する開発・販売権を米国 Innovive Pharmaceuticals, Inc. にライセンスアウト |
| | 平成17年1月 | 治験薬TM-411(多発性骨髄腫)の治験届提出 | 平成20年7月 | 日本CRO協会正会員 |
| | 平成18年3月 | TM-411の韓国における急性前骨髄球性白血病の適応に関する開発・販売権を韓国 Choongwae Pharma Corporationにライセンスアウト | 平成20年10月 | 大阪事業所業務拡充の為、事務所移転 |
| | 平成18年4月 | シェーリングAG社とがん治療の新薬剤の導入契約締結 | 平成21年3月 | CRO事業部門を会社分割、新たにテムリックCRO株式会社を設立し、100%子会社化さらに同年3月31日、同社全株式をスギメディカル株式会社に譲渡 |
| | 平成18年8月 | 東京都より第一種医薬品製造販売業の業許可を取得 | 平成23年10月 | 本店移転 |

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|----------|----------|-----|-----------|------|-----------|-----|-------------|----|----------|-------|----------|----|-----------|-------|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2010年12月 | 0 | 183 | -208 | -231 | -211 | 530 | - | - | 1,581 | 1,783 | 22 | 13 | 1,559 | 1,770 |

会社名： クリングルファーマ株式会社

<http://www.kringle-pharma.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|----------|----------|-----|-------|-----|-------------------------------------|
| 医薬品 | 2001年12月 | 100 | 9月 | 岩谷 邦夫 | 大阪府 | 制癌剤・血管新生阻害剤NK4の医薬品化、及び再生治療薬HGFの医薬品化 |

事業の詳細 制癌剤・血管新生阻害剤NK4の医薬品化(遺伝子治療とタンパク質医薬品、疾患：癌)、及び再生治療薬HGFの医薬品化(たんぱく質医薬品、疾患、腎移植、慢性腎不全、皮膚潰瘍)を行う大阪大学発創薬ベンチャー

会社沿革 NK4は大阪大学で発見された癌転移・腫瘍血管新生阻害分子であり、悪性腫瘍を良性腫瘍のごとく凍結・休眠状態に封じ込める作用をもつ独自の技術である。クリングルファーマ株式会社はNK4による新しい制癌法の早期実現を達成するため平成13年12月に 大学発創薬バイオベンチャーとして設立された。NK4の発見者である大阪大学中村敏一名誉教授、金沢大学がん研究所松本邦夫教授もクリングルファーマ株式会社の設立に深く関与するとともに、松本は平成14年10月からクリングルファーマ株式会社の取締役を兼任し、NK4の事業化に携わっている。代表取締役岩谷邦夫は、武田薬品工業において19年間海外での医薬事業に携わり、北陸製薬(現アボットジャパン)代表取締役、アボットジャパン取締役を歴任後、平成15年3月1日からクリングルファーマ株式会社代表取締役社長に就任した。

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|------|-----------|------|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年9月 | 7 | 2 | -368 | -554 | -375 | -561 | - | - | 378 | 705 | 128 | 80 | 250 | 625 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名：株式会社リプロセル

<http://www.reprocell.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|-------|------|---------------------------|
| 医薬品 | 2003年2月 | 125 | 3月 | 横山 周史 | 神奈川県 | 幹細胞の基礎研究に立脚した研究開発型ベンチャー企業 |

事業の詳細 ES細胞および造血幹細胞に代表される幹細胞の培養・加工技術をコアテクノロジーとした「臨床応用」「創薬支援」「基礎研究」分野での事業開発・展開

会社沿革 平成15年2月 京都大学再生医科学研究所の中辻憲夫教授と東京大学医科学研究所の中内啓光教授の研究成果を社会還元し、広く人々の健康福祉に貢献することを目的に設立

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 277 | 222 | -27 | -38 | -31 | -51 | - | - | 325 | 359 | 49 | 52 | 276 | 307 |

会社名：株式会社エムズサイエンス

<http://www.m-sci.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|----------|----------|-----|-------|-----|---|
| 医薬品 | 2000年11月 | 10 | 3月 | 三田 四郎 | 兵庫県 | シグマ受容体に関する中枢神経学、単純ヘルペスウイルス(HSV)の分子生物学の領域における医薬品研究開発 |

事業の詳細 シグマ受容体に関する中枢神経学、単純ヘルペスウイルス(HSV)の分子生物学をコアとする新薬研究開発

会社沿革

平成12年11月 参天製薬株式会社から抗うつ薬SA4503(Msc1)の導入に成功
 平成13年4月 名古屋大学と単純ヘルペスウイルスによるガン治療の共同研究開始
 平成13年4月 中小企業総合事業団より、課題対応新技術研究調査事業受託
 平成13年7月 神戸ポートアイランドに移動し、創薬ベンチャーとなる
 平成13年9月 味の素株式会社よりA-5021についてガン遺伝子治療領域及び抗ウイルス点眼剤の両分野で独占的実施権を取得
 平成14年3月 関西バイオコンファレンスin Kobeにてプレゼンテーション実施
 平成14年10月 オランダでSA4503(Msc1)の第I相臨床試験開始
 平成15年2月 第6回野村バイオカンファレンスにてプレゼンテーション実施
 平成15年3月 BIO TECH HELSINKI 03にてプレゼンテーション実施
 平成15年7月 経済産業局より、創造技術研究開発事業に認定
 平成16年2月 オランダにおけるSA4503(Msc1)の第I相臨床試験終了
 平成16年7月 米国AGY Therapeutics Inc.とSA4503のライセンス契約を締結

平成17年5月 第11回野村バイオカンファレンスにてプレゼンテーション実施
 平成18年1月 オランダにおいてSA4503ヒトPET試験開始
 平成18年2月 HF10第I/II相臨床試験用のcGMP製剤の生産を開始
 平成18年3月 AGY社が所有するNeuroregeneration Program(知的財産権及び後継化合物を含む)の買収契約を締結 エムズはSA4503に関する全ての権利を独占所有
 平成18年4月 オランダにおいてSA4503ヒトPET試験終了
 脳梗塞発症後の機能回復を対象としたSA4503第II相臨床試験の申請を継承
 平成18年9月 オランダに於いてSA4503(Msc1)の第I相b臨床試験を終了
 平成19年8月 欧州に於いてSA4503(Msc1)の抗うつ薬としての第II相臨床試験開始
 平成19年12月 欧州に於いてSA4503(Msc1)の脳梗塞治療薬としての第II相臨床試験開始
 平成22年11月 タカラバイオ株式会社に対しHF10事業を譲渡
 平成23年1月 2,001,400株の自己株式を取得

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|------|-----------|------|-------------|----|----------|-----|----------|----|-----------|-----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 0 | 0 | -270 | -164 | -17 | -165 | - | - | 73 | 221 | 37 | 15 | 35 | 206 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名：株式会社リクリエーティブ・クリニカル・コーポレーション

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|------|---------|----------|-----|------|-----|--------------------------------|
| サービス | 2004年4月 | 138 | 3月 | 亀山 明 | 東京都 | メディカルコンプレクス(健康・医療複合施設)事業の開発、運営 |

事業の詳細

健康パッケージングサービス(自然治癒力増強のための心理療法を中心として各種療法(サービス/商品)を統合して提供する事業)
 ホームドクターサービス(医療と連携した生活者/患者のための全く新しい健康・医療エージェント事業)
 医療(空間・業務)支援サービス(医療機関に快適な医療空間・高度な業務サービスを提供)

会社沿革

平成16年4月 設立

平成18年4月 健康・医療複合サービス施設「リクリエ銀座」を開業した。

平成21年6月 「リクリエ銀座」を閉鎖し、事実上事業停止状態となっている。

平成23年12月 事業再開の目的が立たないことから早期売却が相当との判断の下、当組合が保有する全株式を当社社長の亀山明氏に売却した。

直近決算の概要 * 平成23年3月期の財務状況は入手できておりません。

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|----|-----------|----|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2010年3月 | 7 | 74 | -46 | 10 | -70 | 9 | - | - | 5 | 79 | 50 | 54 | -46 | 25 |

会社名：株式会社アフェニックス

<http://www.aphoenix.com/japanese/index.html>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|-------|-----|------------------------------|
| 医薬品 | 2002年4月 | 100 | 3月 | 加納 信吾 | 東京都 | バイオナノビーズを利用した創薬及びテーラーメイド医療支援 |

事業の詳細

東京工業大学発バイオベンチャー。新規に開発したバイオナノビーズを利用して、医薬品等のレセプター情報(医薬品等の作用点・副作用点)を解明・解析し、その解析情報を製薬企業にライセンス供与する。この技術により、効率的で、副作用の少ない創薬やテーラーメイド医療の実現が期待できる。

会社沿革

平成14年4月 当社を設立

平成14年10月 財団法人ベンチャー振興基金より助成金を獲得

平成15年1月 東工大発ベンチャー称号の認定を受ける

平成15年3月 北里研究所と共同研究契約を締結

平成15年4月 大学発事業創出実用化研究開発事業の助成を受ける

平成15年6月 NEDO微粒子プロジェクトへの参画が決定

平成15年7月 東京都中小企業振興財団から創業助成金を獲得

研究所をさがみはら産業創造センターに設置

平成15年9月 日本曹達と低分子化合物のプロファイリングで提携

武田薬品と薬剤結合ビーズ供給契約を締結

平成16年2月 日本曹達と化合物ライブラリー供給契約を締結

平成16年3月 三和化学研究所と低分子化合物のプロファイリングで提携

平成16年9月 Anadys Pharmaceuticalsと化合物スクリーニングに関する提携を締結

武田薬品と2回目の薬剤結合ビーズ供給契約を締結

平成17年1月 J-オイルミルズと糖鎖研究用試薬の共同開発契約を締結

平成17年4月 塩野義製薬と薬剤結合ビーズ供給契約を締結

平成17年6月 当社の監査役を3名体制とする

平成17年7月 三和化学研究所より低分子化合物のプロファイリングに関する成功報酬を受領

平成19年7月 合成専用のラボを大阪市立工業研究所内に設立

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|----|-----------|-----|-----------|-----|-------------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 3 | 1 | -34 | -64 | -34 | -66 | - | - | 13 | 48 | 3 | 3 | 11 | 45 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。

投資先未公開企業に関する情報

【 投資事業有限責任組合経由投資企業 】

会社名： リンク・ジェノミクス株式会社

<http://www.linkgenomics.com>

概要

| 業種 | 設立 | 資本金(百万円) | 決算期 | 代表者 | 所在地 | 事業の内容 |
|-----|---------|----------|-----|--------|-----|------------------------|
| 医薬品 | 2001年8月 | 30 | 3月 | 丹波 眞一郎 | 東京都 | ゲノムDNAアレーを用いた抗がん剤の研究開発 |

事業の詳細

がん細胞の中におけるゲノムDNAの異常(候補分子の特定)を短期間で判定する同社固有技術である高精度ゲノムワイドDNAマイクロアレーを開発し、これにより得られた情報により副作用のない高機能ながん治療薬である分子標的治療薬を開発している。

会社沿革

| | | | | | |
|----------|---|--|--|----------|--------------------------------------|
| 平成13年8月 | 設立 | | | | |
| 平成13年11月 | 東邦大学理学部との産学協同研究拠点、『プロテオーム解析センター』を開設 | | | 平成16年3月 | エーザイ株式会社とアライアンスを締結 |
| 平成14年2月 | 経済産業省 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業に参画 | | | | 特定臓器癌における分子標的薬の開発を推進 |
| 平成14年4月 | 総務省 先進技術型研究開発助成事業に参画 | | | 平成16年12月 | 宇部市メディカルクリエイティブセンターの隣接地に『宇部研究所新棟』を竣工 |
| 平成14年8月 | 本社を東京都中央区日本橋本町に移転 | | | 平成17年3月 | 本社を東京都中央区日本橋小舟町に移転 |
| 平成15年4月 | 当社総合研究施設『宇部研究所』を宇部市メディカルクリエイティブセンター内に開設 | | | 平成23年12月 | 当組合が保有する当社の全株式を当社既存株主に売却 |

直近決算の概要

| 直近決算 | 売上高(百万円) | | 経常利益(百万円) | | 当期利益(百万円) | | 1株当たり配当金(円) | | 総資産(百万円) | | 総負債(百万円) | | 自己資本(百万円) | |
|---------|----------|-----|-----------|------|-----------|------|-------------|----|----------|-----|----------|-----|-----------|----|
| | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 | 直近期 | 前期 |
| 2011年3月 | 30 | 187 | -250 | -433 | -263 | -462 | - | - | 71 | 273 | 298 | 237 | -227 | 36 |

このレポートはSBIアセットマネジメント株式会社からの運用の状況の報告を基に本投資法人が投資主の皆様にお知らせするために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このレポートは金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

取得申込みにあたっては、ご自身でご判断ください。このレポートは本投資法人が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。投資証券はリスクを含む商品であり、株式等の値動きのある証券に投資しますので運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本保証、利回り保証および一定の運用成果の保証をするものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資主の方が負います。投資証券は、預金保険および投資者保護基金の支払対象ではありません。本投資証券は、契約型の投資信託とは異なり、1口当たり参考評価額で追加設定・一部解約ができる商品ではありません。